

平成25年4月のコミュニティバス本格運行に向けた取組状況について

1 本格運行に向けた取組み

平成22年4月に再編したコミュニティバスについては、再編から3年間を実証運行と位置づけ、その間の運行状況の分析を通して、より効率的で利便性の高い運行に向けた改善を行い、平成25年4月から本格運行を行います。

運行見直しの手法としては、再編時の運行をもとに、これまでの利用状況データや利用者アンケート調査・聞き取り調査等の結果を分析し、また、地域や利用者の御意見、御要望に基づき、各地域における運行の問題点や改善点の検討を進め、その後、運行見直し案を作成し、各地域の地域公共交通あり方検討会での議論を通して、最終的な運行計画案を作成していくというものです。

現在、各地域の運行見直し案の作成作業を進めており、今後、見直し案について、各地域の自治会長や利用者代表の方々などで構成される地域公共交通あり方検討会で御議論いただき、地域のニーズに合った時刻・ルートの再設定を行い、地域の実情に応じたより効率的で利便性の高い運行計画案を作成していきます。

2 本格運行に向けた見直しのポイント

(1) 地域のニーズに合った時刻・ルートの再設定

乗降調査や利用者アンケート調査・聞き取り調査等のデータを活用し、地域のニーズに合わせた時刻及びルートの再設定を行います。

(再編時の路線バスへの乗り継ぎ重視のポイントを緩和し、買い物や通院、通学など地域内移動の利便性向上となる見直しを行う。)

(2) 運行ルート及び所要時間の短縮による運行の効率化

利用の少ない停留所については、廃止の検討を行うとともに、利用が極端に少ないルートについては、他のルートとの統合などを視野に入れた検討を行い、運行ルート及び所要時間の短縮による運行の効率化を図ります。

(特に、利用者が極端に少ない停留所があるためにルートが延伸しているところは、その停留所を廃止する。)

(3) 買い物や通院に十分対応した運行の実施

スーパーの閉店や医療機関の開設・閉鎖など、刻々と変わる地域の状況を考慮し、買い物や通院に十分対応した運行を行います。

(4) 目的地までの乗り継ぎ負担の軽減

地域内での乗り換えは、高齢者には相当の負担となるため、利用者の大半が高齢者であることを考慮し、地域内の主要目的地には、できる限り一回の乗車により到達できるように極力乗り継ぎを無くし、利用者の負担を軽減した運行に努めます。

(5) 住民参画・協働による推進体制

地域ごとに、住民代表者、利用者代表者及び各種関連団体の代表者などにより構成する「地域公共交通あり方検討会」を開催し、地域の意見や要望を直接聞くとともに、利用促進や計画改善の意欲につながる住民の参画と協働による推進体制で、見直しを進めます。

3 今後のスケジュール

<平成24年度>

7月～10月	地域公共交通あり方検討会での運行見直し案の議論を通した運行計画案の作成
11月下旬	津市地域公共交通活性化協議会での運行計画案の承認
1月～3月	運行変更の準備（バス停時刻表、周知用チラシ・時刻表の作成）及び各地域への周知（地元説明会、時刻表配布）

平成25年度 各地域の運行見直し案

平成24年8月20日現在

地域名	平成25年度運行見直し内容	運行見直しとして困難な要望等
久居地域	<ul style="list-style-type: none"> ・稲葉ルートの水曜日と桃園ルートの日曜日に於いて、三重中央医療センターの11時受付に間に合うよう、始発時間を30分繰り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・久居駅西口まで乗り入れてほしい。 ⇒ 三重交通路線との競合問題があり、西口乗り入れは困難。 ・もう少し便数を増やしてほしい。 ⇒ 1台での運行であるため、現状では増便は難しい。 ・運賃を無料にしてほしい。 ⇒ 再編時の経緯があるので、無料にはできない。
河芸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・運行時間の微調整を行う。(運転手からの意見) 	
芸濃地域	<ul style="list-style-type: none"> ・全ルートにおいて、午後便を増便し、週4日2往復の運行とする。 ・朝の1便目の出発時間を30分程度遅らせ、ショッピングセンターの開店時間に合わせた運行とする。 ・乗降者が少ない非効率な停留所を廃止する。 ・運行に係る停留所間の時間について、見直しを図る。 ・雲林院ルートの椋本周辺の回り方を簡素化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木曜日と土曜日も運行してほしい。 ⇒ 他地域とのバランスや市の方向性を考慮すると困難。 ・祝日も運行してほしい。 ⇒ 芸濃地域だけではなく、全市的な対応として、検討する。
美里地域	<ul style="list-style-type: none"> ・長野・高宮ルートにおいて、乗り継ぎなしでF温泉病院、湯の瀬への直接乗り入れを行う。 ・長野・高宮ルートにおいて、足坂付近の転回をやめ、フラワービレッジで転回を行う。 ・長野・高宮ルート及び辰水ルートにおいて、15時台の帰り便を設定し、現行の17時台帰り便をやめる。 ・辰水ルートの辰水農協前付近の回り方を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷山ハイパスから忠盛塚を経由し、西部市民センターまでつなぐルートを作ってほしい。 ⇒ ルートを延長すると、運行時間も長くなり、既存の利用者に影響が及ぶため、慎重に検討していく必要がある。 地域公共交通あり方検討会で議論してもらう。
安濃地域	<ul style="list-style-type: none"> ・朝8時台の便を、せにやの9時の開店に合わせ時刻設定に変更する。 ・1往2復(午前は往復、午後は帰り便のみ)について、2往復に変更する。 ・村主ルートを廃止し、南神山公民館東、妙法寺神社橋前、安濃聖母の家前についでには、草生ルートに組み替え、村主小学校の学童対応は明ルルートに組み替える。 ・安濃中央総合公園の起終点を、サンヒルズ安濃の起終点に変更する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一色町のAコープまで延伸してほしい。 ⇒ 買い物物については、せにや周辺で対応可能であり、またニーズも不明確のため、延伸しない。
一志地域	<ul style="list-style-type: none"> ・平日毎日運行から、曜日限定運行(平日3日程度)に変更する。 ・一日当たりの運行の増便を行う。 ・始終点を、とことめの里一志を基本として、ルートのスリム化を行う。 ・原則ワゴン車1台運行とし、経費の抑制を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつてのデマンド型に戻してほしい。 ⇒ 以前行われていたデマンド型は、家から指定された公共施設等への運行であり、利用可能な地区や利用者にも制限があったことから、不公平な運行でもあったため、全市的なバランスを考慮すると、戻すことはできない。 ・波瀬地区にコミバスを運行してほしい。 ⇒ 三重交通路線が運行しているので、コミバス運行は行わない。
白山地域	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の往復型運行から、循環的な要素を含んだ往復ルートの設定を行う。 ・マックスバリュ(白山店)での買い物時間を確保する。 ・マックスバリュ(川口店)への直接乗り入れを行う。 ・白山三ヶ野循環ルートを再編する。 <p>※美杉コミバスの一志病院への全線乗り入れに伴い、乗換拠点を一志病院にすることから、白山コミバスの立町から竹原間を休止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川口地区の運行について ⇒ 三重交通多気線及びJR名松線があることから、運行しない。 ・二俣地区、上佐田地区等への運行について ⇒ 道路が極小であり、要望人数も不明確であるため、運行しない。
美杉地域	<ul style="list-style-type: none"> ・循環ルートを見直し、直線的な往復ルートの設定を行う。(比津經由に集約し、逢坂は79条運行で対応する。) ・一志病院への全線乗り入れを行う。 ・マックスバリュ川口店への直接乗り入れ便を設定する。(1日2往復) ・杉平～石名原間は79条運行で、一志病院や名松線、近鉄との乗継等に対応する。 <p>※一志病院及びマックスバリュ川口店へのルート延伸に伴う距離の増加により、若干本数が減る予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丹生俣及びび川上地区の奥地まで延伸してほしい。 ⇒ 現地調査をしたところ、あまりにも狭小な道路であり、バスが入るには危険と判断した。 ・太郎生地区へのコミバス延伸について ⇒ 名張奥津線の廃止代替路線化により、コミバス対応は凍結中。 ・運賃を200円にしてほしい。 ⇒ 名松線との関係があり、25年4月の対応は難しいが、将来的には見直しが必要と認識している。

各地域公共交通あり方検討会開催結果一覧

平成24年8月20日現在

地域名	開催日	内容	協議結果及び今後の対応等
久居地域	9月中開催予定	—	—
河芸地域	8月22日開催予定	—	—
芸濃地域	7月5日	・平成25年度運行変更素案の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度運行変更素案については、了承済 ・木曜日・土曜日について運行をしてほしいとの要望があったが、各地域とのバランス及び1便当たりの利用者数から増便は困難であることを伝える ・祝日も運行してほしいとの要望があったことから、芸濃地域だけでなく全市的な対応として検討する
美里地域	8月27日開催予定	—	—
安濃地域	6月29日	・平成25年度運行変更素案の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度運行変更素案については、了承済 ・村主ルートの統合についても、地元自治会の了承済
一志地域	8月2日	・あり方検討会の組織設立に関する協議	<ul style="list-style-type: none"> ・今後具体的な内容を協議していく(9月中に開催予定)
白山地域	7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度運行変更素案の提示 ・児童・生徒の通学支援に関する要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の通学の支援について、関係所管である教育委員会事務局と調整し、平成25年度運行変更素案の協議も含め、次回検討会(9月開催予定)を開催する
美杉地域	7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度運行変更素案の提示 ・昨年度実施したアンケート調査結果報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度運行変更素案の提示時にいただいた修正(一部延伸)を一部行った上で了承済